

令和7年2月25日

泉の学び舎
世田谷区立池尻小学校
校長 間宮 英二様

泉の学び舎
世田谷区立池尻小学校
学校関係者評価委員会
委員長 田口 康之

令和6年度学校関係者評価報告書

1 初めに

近年、行政、企業、学校の経営やサービスにかかわり、第三者委員会の立ち上げが話題となっている。本区、本校においては数年来、学識経験者、児童・保護者を身近に見て活動する支援者、地域から学校を支える支援者等が日常の教育活動を調査・分析・考察し、児童が望ましい教育活動が受けられるよう委員会を実施した。

本年度においても本校学校評価委員会として、学校長の学校経営方針、教職員の日常の教育活動、その中での児童、保護者、地域の方々等の評価を総合的に分析、考察し、本校の今後の教育活動や児童理解、保護者理解、地域理解に資するものとするを目的とし、学校長へ報告書を提出する。

学校関係者評価の分析・考察を実施するにあたり、本校5年生、6年生の児童、1年生から6年生までの保護者、本校にかかわる地域の方々へのアンケートを実施した。本報告書が、学校長はじめ教職員の来年度におけるより良い教育活動に生かされることを期待する。

(1) 学校関係者等アンケート調査数について

回答状況

児童 122名

5年51名（61名在籍）

6年56名（61名在籍）

保護者 243名

1年32名（依頼数51名）

2年35名（依頼数50名）

3年22名（依頼数48名）

4年30名（依頼数55名）

5年28名（依頼数61名）

6年27名（依頼数61名）

地域 15名（依頼数33名）

(2) 考察方法について

アンケート調査より、

①肯定的回答が多かった項目

②否定的回答が多かった項目

③わからないという回答が多かった項目

以上の3項目に着目し、「児童」「保護者」「地域」から考察した。また、学校経営方針の重点目標の1及び2並びに3について考察を行った。

II 「前年度（令和5年度）の改善結果及び次年度（令和6年度）に向けた改善方策」に対する評価

児童へのアンケートによれば、本校の先生方の授業の行いについては、概ね肯定的なものが多く、「せたがや探究的な学び」に沿った学習展開は間違えなかったものとする。

地域へのアンケートの「学校行事の内容は充実している」の回答では肯定的な回答が90%を超えていたのが、100%に増加していた。これは地域の関係者と連携を取り、児童との関わりを増やすと共に多様な視点から授業を行っている結果とする。

昨年同様に児童、保護者共に、肯定的評価の少なかったものに「早寝早起き」に関しての項目がある。学校としては、全学年の児童に行っている「すこやかタイム」の保健指導の内容を保護者へ更に周知徹底する必要がある。

つながり合う関係の中で一生懸命な姿が輝く学校を育成するためには、外発的動機付けだけでなく、内発的動機付けが必要である。探究的な学習に沿って授業を行い、達成感や成就感を味わうために校内研究においても学びを深める必要もある。また教職員だけでなく、保護者や地域の方々がゲストティーチャーとして授業に参加して児童との接点を持つようにすることもつながり合いを高めていると考える。

児童と教職員、保護者、地域の方々が様々な場面で豊かに関わり合い、自他の良さや大切さに気づき、思いを伝え合うことが出来る児童を育成する学校であると期待したい。

Ⅲ 学校関係者評価結果及び考察について

1 児童(5・6年)アンケート

(1) 肯定的回答の多かった項目

	肯定的回答(「とても思う」「思う」)の多かった項目	A. とても思う	B. 思う	C. あまり思わない	D. 思わない	E. 分からない
1	授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	54.9%	36.3%	4.4%	2.7%	1.8%
2	先生は、課題(めあて)について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。	47.8%	40.7%	8.0%	0.9%	2.7%
3	学校行事は楽しい。	53.1%	35.4%	5.3%	4.4%	1.8%
4	私は、相手の思いや考えを真剣に聴いている。	31.9%	54.9%	9.7%	0.9%	2.7%
5	先生に注意されたことは、理解できる。	46.9%	38.9%	9.7%	1.8%	2.7%

(2) 否定的回答の多かった項目

	否定的回答(「あまり思わない」「思わない」)の多かった項目	A. とても思う	B. 思う	C. あまり思わない	D. 思わない	E. 分からない
1	私は早寝、早起きをしている。	13.3%	29.2%	30.1%	24.8%	2.7%
2	学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。	8.8%	23.9%	26.5%	23.9%	16.8%
3	私は、家庭で宿題やe-ラーニングでの学習をしている。	16.8%	42.5%	16.8%	15.0%	8.8%
4	先生たちに相談できる。	31.9%	34.5%	20.4%	10.6%	2.7%
5	学ぶことが楽しい	27.4%	40.7%	22.1%	8.8%	0.9%

(3) 「わからない」という回答の多かった項目

	否定的回答(「あまり思わない」「思わない」)の多かった項目	A. とても思う	B. 思う	C. あまり思わない	D. 思わない	E. 分からない
1	「わからない」という回答の多かった項目	9.7%	34.5%	17.7%	10.6%	27.4%
2	区立中学校に関する情報が提供されている。	8.8%	23.9%	26.5%	23.9%	16.8%
3	学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。	27.4%	37.2%	13.3%	9.7%	12.4%
4	私は家でインターネットやゲームをするときのルールがあり、それを守っている。	25.7%	40.7%	15.9%	6.2%	11.5%
5	私には、よいところがある。	23.9%	35.4%	22.1%	8.8%	9.7%

【児童(5・6年)アンケート回答の考察】

「学校生活は楽しい」、「学校が好き」という項目については、5・6年生を合わせると、肯定的回答がそれぞれ78.8%、67.1%であり、多数派が肯定的回答をしているものの、この項目についての昨年の結果は、肯定的回答がそれぞれ93.6%、85.3%と非常に高かったことと比較すると減少してしまっている。今年の6年生の回答を昨年の(5年生時)の回答と比較しても若干減少している(学校生活は楽しい:94.7%→91.1% / 学校が好き:80.7%→76.8%)。

「考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある」の項目への肯定的回答が91.2%(昨年は99.1%)「課題(めあて)について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている」の項目への肯定的回答が88.5%(昨年は95.4%)。いずれも大多数が肯定的回答であるが、昨年と比較すると若干減少している。

今年度の6年生の回答のうち、昨年(5年生時)の回答よりも肯定的回答が増えた項目

私は相手の思いや考えを真剣に聴いている(85.9%→89.3%)

私は自分の思いや考えを友達の前で話すことができる(79%→91%)。

私は友達のよいところを見つけ、友達と協力している(80.7%→85.7%)。

私は早寝、早起きをしている(38.6%→42.9%)。

一方で、「私は学校の様子について家の人とよく話をしている」の項目は微減(70.2%→66.1%)。

上記から、この1年間で、コミュニケーション能力や仲間と協力する能力が向上すると感じる6年生が増加していることが窺われる。また、生活習慣が改善した生徒も少ないものの存在している。

昨年に引き続き、「私は早寝、早起きをしている」の項目は肯定的回答が少ない(昨年47.7%、今年42.5%)(6年生はこの項目が上昇しているため、5年生が特に少ないと言える)。

「先生たちに相談できる」「学ぶことが楽しい」への否定的回答がそれぞれ31%(昨年12.9%)、30.9%(昨年なし)。「先生たちに相談できる」は6年生の否定的回答は23.2%で、昨年の14.1%よりも上昇してしまっている。今年の5年生の否定的回答は38.6%と多い数字となっている。

学習について、児童は授業では、課題(めあて)を自ら考えたり友達や仲間と共に考えたりして決め、授業で考えたことを話し合ったり発表し合うなどして学習を深めていることを85%以上の児童が実感できていることから、日々、主体的に充実した学習をしている様子が分かるが、昨年は99%以上の児童が肯定的に回答していた点と比較すると減少している。

学校生活については、「学校生活は楽しい」、「学校が好き」という項目について、肯定的回答がそれぞれ78.8%、67.1%であり、多数派が肯定的回答をしているものの、この項目についての昨年の結果は、肯定的回答がそれぞれ93.6%、85.3%と非常に高かったことと比較すると減少している。

また、「先生たちに相談できる」への否定的回答が、昨年は12.9%であったものが今年は31%に上昇している。上記から、この1年間で、先生や学校に対する信頼感が低下している恐れがある。一方で「学校行事は楽しい」との回答は88.5%であり、今年も引き続き高いことから、学校行事の機会を上手に活用

する等して、児童たちの成長や学校や仲間への好感度を高めていく工夫に期待したい。

なお、今年度の6年生については、昨年（5年生時）の回答との差異により、以下のとおり分析・考察を行った。

まず、下記の3項目については、昨年も肯定的回答が多かったが、今年はさらに増えている。

私は相手の思いや考えを真剣に聴いている（昨年：85.9%→今年：89.3%）

私は自分の思いや考えを友達の前で話すことができる（昨年：79%→今年：91%）。

私は友達の良いところを見つけ、友達と協力している（昨年：80.7%→今年：85.7%）。

上記から、この1年間で、コミュニケーション能力や仲間と協力する能力が向上したと感じる6年生が増加していることが窺われる。最上級学年となり、学校行事や縦割り班活動などで、より主体的で責任のある立場で活動する機会が増加していることも影響しているのではないかと考える。

次に、「私は早寝、早起きをしている」の項目も、昨年より改善しており（昨年：38.6%→今年：42.9%）、生活習慣が改善した児童が増加しているものの、依然として夜型の生活をしている子どもが多い。質の良い睡眠を確保することは、成長時期にとっても大切である。体育の時間や休み時間を利用して十分に遊びや運動を行うことは、基礎体力を養い健康の保持増進にも役立つことを児童に理解させ、今後も心身ともに豊かな成長を育んでいただきたい。

最後に、「私は学校の様子について家の人とよく話をしている」の項目が昨年に比べ微減となっている（昨年：70.2%→今年：66.1%）。多忙な日常のひと時、家庭でも学校の様子を話題にし、子どもからの話に耳を傾けることにより、児童の心安らかな充実した学校生活に繋がっていくことを保護者にも伝えていただきたい。

2 保護者アンケート

(1) 肯定的回答の多かった項目

	肯定的回答（「とても思う」「思う」）の多かった項目	A. とても思う	B. 思う	C. あまり思わない	D. 思わない	E. 分からない
1	学校行事は、子どもにとって楽しい。	64.9%	32.5%	1.0%	0.0%	1.5%
2	家庭では、朝食をきちんと食べさせている。	61.9%	34.5%	3.1%	0.5%	0.0%
3	学校行事は、子どもにとって達成感がある。	55.2%	40.2%	1.5%	0.0%	3.1%
4	私は、児童に自分からあいさつをしている。	28.4%	66.5%	4.1%	0.0%	1.0%
5	本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。	26.8%	66.5%	2.6%	0.0%	4.1%

(2) 否定的回答の多かった項目

	否定的回答（「あまり思わない」「思わない」）の多かった項目	A. とても思う	B. 思う	C. あまり思わない	D. 思わない	E. 分からない
1	「学び舎」の区立（幼稚園）中学校について情報が提供されている。	7.2%	28.4%	28.9%	7.2%	28.4%
2	児童は早寝早起きをしている。	23.7%	44.3%	21.1%	10.8%	0.0%
3	子どもは、家庭で自主的に学習をしている。	18.6%	49.0%	22.7%	8.8%	1.0%
4	私は、今年度の学校重点目標を理解している。	5.2%	43.8%	24.2%	5.2%	21.6%
5	家庭では、インターネットやゲームなどを使う時のルールを決め、守らせている。	22.2%	55.7%	18.6%	3.6%	0.0%

(3) 「分からない」という回答の多かった項目

	「わからない」という回答の多かった項目	A. とても思う	B. 思う	C. あまり思わない	D. 思わない	E. 分からない
1	本校は、地域に情報を提供している。	11.3%	44.3%	5.2%	0.5%	38.7%
2	本校は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。	10.8%	39.7%	10.8%	4.1%	34.5%
3	本校は、近隣の（幼）・小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている。	7.2%	44.3%	15.5%	3.6%	29.4%
4	「学び舎」の区立（幼稚園）中学校について情報が提供されている。	7.2%	28.4%	28.9%	7.2%	28.4%
5	本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。	11.3%	49.0%	8.8%	3.1%	27.8%

【保護者アンケート回答の考察】

アンケートの分析・考察の前に、前提における調査標本について、述べておく。

まず、アンケート調査であるが、保護者の数と回収できた標本数についてである。1年生の51名に対し、32名（総員に対して63%）2年生50名に対し、35名（70%）3年生48名に対し、22名（46%）4年生55名に対し、30名（55%）、5年生61名に対し28名（46%）、6年生61名に対し、27名（44%）、総人数326名に対し、174名（53%）であった。他の項目に比べ、回収率が53%という少ない数での分析・考察であることを前記して分析・考察に入る。

肯定的な回答においては、昨年度同様に「学校行事の内容は充実している。」への設問に対し、とても思う、思うに全回答者が答え、学校の行事への対応や継続的な努力が伺える。また、保護者側も学校行事への期待度が読み取れる。学校行事は、魅力的な学校づくり、児童、保護者が学校に行きたいなと思う学校経営上の目玉といえる。今後も学校は保護者の要望なども踏まえ、継続的に学校行事を重視していくべきである。また、学校からのお知らせなどにより、学校の様子がわかるの設問も評価が高く、学校行事や学校が実施していることを保護者に伝えている状況ができていくことが信頼につながると考える。

否定的な回答の項目では、アンケート6と7における「学び舎」に関する項目である。昨年度の調査結果よりもさらに否定的な意見が多くなっている。近隣の幼稚園、小学校、中学校で構成する「学び舎」の交流状況や各学校の情報が保護者に伝わっていない状況が顕著に見受けられる。特に進路先の中学校の情報が伝わっていないことは、児童・保護者の不安にも繋がる。昨年度からの課題であり、中学校との連携のもとに情報提供の対策を練られたい。

わからないの回答についての項目では、否定的な意見で取り上げた、「学び舎」に関する情報提供の課題である。開かれた学校を目指す本校としては、多くの保護者に理解していただく工夫が必要となる。また、キャリア教育の柱で生き方に関する授業についても情報提供の不足からか、わからないと応えた保護者が多い。

以上から、学校公開、情報の発信、共有等開かれた学校づくりに取り組んでいくことが求められる。

3 地域アンケート

(1) 肯定的回答の多かった項目

	肯定的回答（「とても思う」「思う」）の多かった項目	A. とても思う	B. 思う	C. あまり思わない	D. 思わない	E. 分からない
1	学校行事の内容は充実している。	43.8%	56.3%	0.0%	0.0%	0.0%
2	学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子が分かる。	56.3%	37.5%	0.0%	0.0%	6.3%
3	学校は、安心・安全な学校づくりを進めている。	37.5%	56.3%	0.0%	0.0%	6.3%
4	事前の準備や当日の案内などで、地域への配慮がある。	43.8%	43.8%	0.0%	0.0%	12.5%
5	通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている。	25.0%	62.5%	0.0%	0.0%	12.5%

(2) 否定的回答の多かった項目

	否定的回答（「あまり思わない」「思わない」）の多かった項目	A. とても思う	B. 思う	C. あまり思わない	D. 思わない	E. 分からない
1	本校の児童は、地域の人とあいさつをしている。	25.0%	25.0%	6.3%	6.3%	37.5%
2	本校（地域）の児童をほめようと思ったことがある。	43.8%	31.3%	0.0%	6.3%	18.8%
3	学校行事の内容は充実している。	43.8%	56.3%	0.0%	0.0%	0.0%
4	学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子が分かる。	56.3%	37.5%	0.0%	0.0%	6.3%
5	学校は、安心・安全な学校づくりを進めている。	37.5%	56.3%	0.0%	0.0%	6.3%

(3) 「わからない」という回答が多かった項目

	「わからない」という回答が多かった項目	A. とても思う	B. 思う	C. あまり思わない	D. 思わない	E. 分からない
1	学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。	6.3%	50.0%	0.0%	0.0%	43.8%
2	学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。	12.5%	43.8%	0.0%	0.0%	43.8%
3	本校の児童は、地域の人とあいさつをしている。	25.0%	25.0%	6.3%	6.3%	37.5%
4	学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	37.5%
5	学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子が分かる。	31.3%	37.5%	0.0%	0.0%	31.3%

【地域アンケート回答の考察】

令和6年度のアンケート依頼数33名、回答数15名で昨年度の依頼数49名、回答数22名に比較し回答率は上がったものの総数が減っていることから、あくまで今年度アンケート結果を基に考察することとする。昨年より新型コロナウイルスに対する行動制限が減少し、今年度はコロナ禍以前同様の通常の学校運営が実施できている。「通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている」、「学校行事の内容が充実している」、「学校は、安心・安全な学校づくりを進めている」の項目について肯定的回答が多く、否定的回答が0%であった。この数値は、学校からのお知らせ（学校だよりなど）、学校行事の参観、地域での子ども様子などからの結果であり、「安全・安心で充実した学校運営」がされていること伺える。

「学び舎」の活動については、小・中学校合同で研修会を実施したり、保育園等との交流を行ったりしている取組を、地域の方々に情報共有されたことが、「学び舎の活動について情報提供されている」の肯定的回答が多かった理由ではないかと推察される。

また、「学校公開や道徳地区公開講座などで学校の様子が分かる」の質問に対して「分からない」と答えた割合が31.3%と高かったのは、地域の方々がこれらの学校行事に参加する時間の確保が困難な面もあり、コロナ禍の行動変容が根深く残っていることも考えられる。しかしながら今後、次年度以降、学校公開、道徳地区公開講座の実施後に学校だより等で取組結果の報告をするなど工夫していくことでの情報共有も必要であると考え。今後は、地域の方に各報告を含めた情報発信をさらに進め、学校、地域、保護者がしっかり連携・協力して更なる子どもたちの育成を図りたい。「本校の児童は地域の人にあいさつをしている」の質問に対して、否定的な回答と「分からない」答えた割合が合わせて50共に27.3%と高い結果であった。昨今、社会全体で不審者を警戒してかあいさつをしない子どもが増加している傾向にあるのではないだろうか。まずは、あいさつを交わす場を増やし、地域や保護者方々が、自ら積極的に児童にあいさつをするとともに、児童も自らあいさつをし、それぞれの方々と顔見知りになれるよう、一層の生活指導の充実を図る必要がある。あいさつを交わすことで生まれる「地域のゆるやかなつながり」は、児童の見守りや助け合いの土台として「豊かに関わり合い、互いに高め合う児童の育成」「地域に開かれた教育課程」の実現のために必要不可欠となるであろう。学校運営について「学校の重点目標が明確である」の項目にわからないが31.3%と多かったのは、学校協議会などの情報共有の場が減ったことによる数値の現れが考えられる。地域にはホームページだけではなく、直接の意見交換の場も必要なのではないだろうか。今後は地域に各報告を含めた情報発信をさらに進め、学校、保護者、地域がしっかり連携・協力して更なる子どもの育成を図ってほしい

○まとめと課題

学校評価として、昨年度同様、概ね、学校の教育活動については肯定的な評価を受けている。昨年同様先生方の授業等の教育活動は概ね肯定的な評価が示されている。

特に児童は、コミュニケーション能力が培われ、他者理解に繋がり、思いやりの心が育っていることが調査からうかがえる。まあた、児童、保護者、地域の方々からも学校行事については高い評価を得て、楽しんでいる状況がある。

一方、課題も明らかとなった。

【児童】

○「早寝、早起きをしている」項目については昨年からの改善が見られない。今後も改善の工夫が必要であろう。

○「先生たちに相談できる」という設問は厳しい評価が示され、今後の重要課題と考える。

【保護者】

○アンケート調査への協力が少なく、保護者の考えや評価を正しく見とることができない状況を改善することは急務である。

○昨年度同様「学び舎」についての情報を広く提供できるように工夫する。

【地域】

○保護者同様、「学び舎」の情報提供の工夫

以上、本年度の学校評価のまとめと来年度に向けての課題である。学校は、児童、保護者、地域の方のアンケートから概ね良好の状況と考えられる。一方、課題も見られた。今後とも、学校の情報を広く伝え、学び舎についても保護者、地域に理解していただくよう努力され、相互の信頼関係を構築することを期待する。